

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ソキウスコンサルティング株式会社

② 施設・事業所情報

名称：キンダーガーデンえびな	種別：保育所
代表者氏名：工藤 玲子	定員（利用人数）： 76名（77名）
所在地：神奈川県海老名市上郷1-10-25	
TEL：046-292-7088	ホームページ：https://ebina.shinkou-kai.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 令和元年10月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 新考会	
職員数	常勤職員： 9 名 非常勤職員 8 名
専門職員	園長 1 名
	主任保育士 1 名
	副主任保育士 1 名
	保育士 6 名
	調理員（外部委託） 3 名
施設・設備の概要	（居室数） 6 （設備等） 職員室 更衣室 給食室 相談室 エレベーター 駐車場 駐輪場 屋外遊技場 ボルダリング

② 理念・基本方針

理念 子ども達の成長を見守り、足跡を未来につなげる。

～君たちの足跡を残したい。～

基本方針 社会の変化と子ども達の育っていく環境はめまぐるしい程の変化をしています。日本の国内にとどまらず、世界に広がっていく社会環境の中で適用できる子どもとして育っていけるよう子ども達の育っていく道すじをしっかりと見つめながら、「環・食・知」をバランスよく育てていきたいと思ひます。

③ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・はだし保育を取り入れることで、土踏まずの形成促進や、足の裏の刺激による体全体の成長を促しています。
- ・子ども達の意見や会話を大切にし、興味関心を持ったことから子どもの主体性を大切に活動内容を一緒に作り上げています。
- ・園外散歩を通して地域の人との交流や、体力の向上に努めています。
- ・個人絵本を購入していただき、保育の中に取り入れることで絵本に親しむこと、自分の物を大事にすることを学んでいます。
- ・全学年で連絡帳アプリを活用。乳児クラスは毎日、幼児クラスは休み明けに子どもの様子を入力してもらい、園での様子も知らせています。
- ・毎日の様子をクラスごとに写真入りで作成した保育ダイアリーを保護者に向けて掲示しています。
- ・毎月子どもの育ちを写真とエピソードで伝えるポートフォリオを作成し、保護者に渡してコメントを書いて返却してもらい、年度末に一年分をまとめて保護者に渡しています。
- ・一時保育、親子陶芸、LaQ講座等の地域の子育て世帯に向けた、子育て支援に関する取り組みを行っています。
- ・栄養士による月一回の食育や、看護師による隔月の健康教育を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年8月1日（契約日）～ 令和6年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1. 優れている点

(1) 園長の的確なリーダーシップの下、職員間でしっかりした意思の疎通・協力体制ができており、風通しの良い、働きやすい勤務環境作りが進められています。

常に臨機応変かつ柔軟な対応が求められる保育現場に、しっかり対応できる組織を作るため、園長はリーダーシップを発揮して、運営方針や自らの考え、思いを日々のミーティングをはじめ、毎月の職員会議などの機会を捉えて丁寧に説明しています。また、人事考課の面談などで職員の希望や個人的な悩みも聞き、相互理解と職員の意識向上（モチベーションアップ）に取り組んでいます。

職員も互いに協力し助け合い、チームワークを発揮しながら保育に臨んでいます。毎朝理念や基本方針について読み合わせを行い再確認し、気持ちを一つにして保育に対する熱い思いを持って子ども達に接しています。このように園長以下全員が一体となって、情報を共有し、協力し、声を掛け合い、相談し合うなど、しっかりした意思の疎通・協力体制が築かれています。保育士相互に良い点を指摘し合うピグマリオンミーティングや園内留学と称して担任でないクラスの保育に当たるなど保育の質の向上に務めています。

今回の訪問調査時の職員に対するヒアリングにおいても職員間の連携・協力や風通しの良さについて多くの肯定的な意見が聞かれました。これらのことは働きやすい勤務環境づくりにも繋がり今後ともこの状況を維持・発展させて頂きたいと思えます。

(2) 年度の事業計画の策定あたっては園を取り巻く環境の分析、前年度の振り返りなどの結果を踏まえ、着実に改善・向上を図っています。

前年度計画をしっかり見直し、修正・改善事項を把握しこれらを着実に現年度計画に反映しています。特に「子どもたちにとって」「保護者にとって」「職員にとって」「地域」の4つの視点を設定し、この区分に基づきそれぞれ職員でグループを作り、さらに細部具体的に検討し、園の目標を月単位に落とし込んで実施しています。毎月振り返りを行い、結果および達成度を確認するとともに改善事項や時期に反映すべき事項を明らかにしています。特に目標の設定にあたっては具体的実施事項を明らかにし、かつ努めて計数的に設定し、進捗状況や達成度の把握、管理が的確にできるように努めています。日常的にPDCAサイクルによって活動しています。

(3) 家庭との緊密な連携により保護者と園の良好な関係が築かれています。

園では、保護者の相互理解を深めることは保育の質の向上において重要なことと考えています。このため、園での子どもの様子を詳しくしっかりと伝え、それにより成長を実感できるように努めています。具体的にはアプリを使った毎日の連絡帳でその日の出来事や様子を伝え、適宜に保育参観、保護者面談などの機会を設け園の方針や考えを伝えるとともに、保護者の意見や提案なども聞き、さらに保育ダイアリーとして日々の保育の内容を写真などを活用してクラスごとに作成し、玄関に掲示して保護者に分かるようにしています。また、毎月個々の子どもの様子を写真に撮り、文章と共に保護者に渡して保育の内容を知らせて子どもの成長の足跡を残しています。これらの施策により家庭との緊密な連携、信頼関係ができ、保護者と

園の良好な関係が築かれています。

## 2. 改善が期待される点

(1) 地域との交流特に自治会との関係について引き続きの改善努力が期待されます。

当園は、市役所はじめ関係機関とは良好な関係が構築・維持され、一時保育、親子陶芸、LaQ講座等により、地域の子育てインフラとして大きく寄与・貢献していますが、開設して間もない時期にコロナ禍が起こったこともあり、近隣地域特に自治会との関係がやや希薄な状況になっています。自治会への加入のため種々の努力をされていますが、未だ加入には至っていません。近隣の人々と密接な交流を図ることにより、散歩や園外活動時の安全確保や出会う人々との挨拶や言葉を交わすことは社会勉強の第一歩でもあり、子ども達の成長にとって力強い後押しになると思われます。また、近隣住民の方々との防犯・防災に関する連携は、保育の安全・安心の確保に不可欠です。自治会加入によって更なる良好な地域との関係構築のため引き続きの努力が期待されます。

(2) 人材の育成について更なる改善・向上が期待されます。

人事管理について総合的な体制が構築されていますが、部分的には見直し・修正が必要な点も見受けられます。具体的には、当園の人員配置の状況は比較的経験豊富なベテラン保育士が少なく、若年層が多くやや偏った状況にあり、よりバランスのとれた職員構成が求められます。またキャリアパスについても、職位、主な職責、求められる能力などの区分について、それぞれの項目の内容が不整合となっている部分が見受けられます。今後見直し、修正して行くことが望まれます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価受審をさせていただいたことで、日々の保育を改めて振り返ることができました。課題がより明確になり、継続する中で強化していきたい部分や、改善すべき点にも気付かせていただきました。職員一同で今回の評価結果を共有し、より良い保育の実践ができるよう努めていきたいと思えます。地域に対しては「地域に根差し、必要とされる存在でありたい」という考えを今後も自治会をはじめとした地域の方に積極的に発信し、そうなれるよう努めていきたいと思えます。職員一同気持ちをひとつにして取り組んでまいります。お忙しい中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、丁寧に評価をしてくださった評価機関の皆様へ感謝申し上げます。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり